

STAGE 2-28

佐世保工場

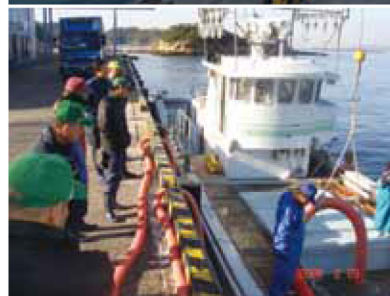
新設 稼働中

竣工 DATA

竣工年月	1997 (平成9) 年7月	
設計者	創元設計	
施工者	五洋建設	
施設概要	敷地面積	6,693.92㎡
	延べ床面積	4,558.54㎡
	構造	S造1階建
	プラットホーム	開放型低床式
	防熱方式	外壁内防熱・吊り天井防熱
収容能力	総トン数	5,349t
	F級	5,218t
	C級	131t
	C&F	×
	ドライ	×
	凍結	64t/日
冷却設備	施工者	第一冷凍プラント
	冷凍機メーカー	KOBELCO
	主要冷凍機	スクリュウ冷凍機
	冷媒	R-22
	冷却方式	分散式・直接膨張式・アルミヘアピンコイル・ユニットクーラー
荷捌室低温化	×	
その他設備	鮮魚処理場併設	



佐世保工場 (1997 (平成9) 年)





魚市場が目の前にあり、買付した魚は工場横の岸壁に船を横付けして水揚げ可能。



機械室


長崎県に2カ所目の産地型工場 前浜に水揚げされる魚はすべて凍結だ!!


 佐世保工場は佐世保市相浦の魚市場に隣接した産地型前浜の事業所ですね。

 そうだね、前浜で水揚げされた水産物を買付けた後、選別・凍結するスタイルの長崎、唐津、枕崎に続く九州地区で4番目の産地型事業所で、九州地区の産地強化の一環だよな。

魚の選別ラインを置いた加工処理施設を持ち、凍結能力は日産70トンあったね。冷凍機はR22分散直膨方式だね。ちなみにここと志布志工場は、第一冷凍プラントがヨコ

レイで最後に施工した事業所だね。

 ここはS造平屋建てで多く採用されている、二重天井防熱と内防熱工法ですね。

 汚水の浄化設備には苦労していてね。2017 (平成29) 年に、バイオフィリンジ方式によって浄化槽内の菌を活性化させることで処理能力が向上する設備に改修したね。

ここも66期に選別ラインの自動化の改修を行ったよね。当社の現場事業所では初の試みとして、障害者の雇用を行っていたね。

バイオフィリンジ

Technical Note

バイオフィリンジとは、汚泥などの固着性が極めて高い特殊アクリル繊維をフサ状にして吊るした浄化設備(アクリルは合成繊維の中で最も親水性が高いため、汚泥が付きやすい)。既設のばっ気槽に“バイオフィリンジ”を設置することで、汚泥減容化装置として機能する。

